

2027年3月期

第1四半期決算説明会

2026年8月4日

ヤマハ株式会社



決算発表のポイント

決算概要

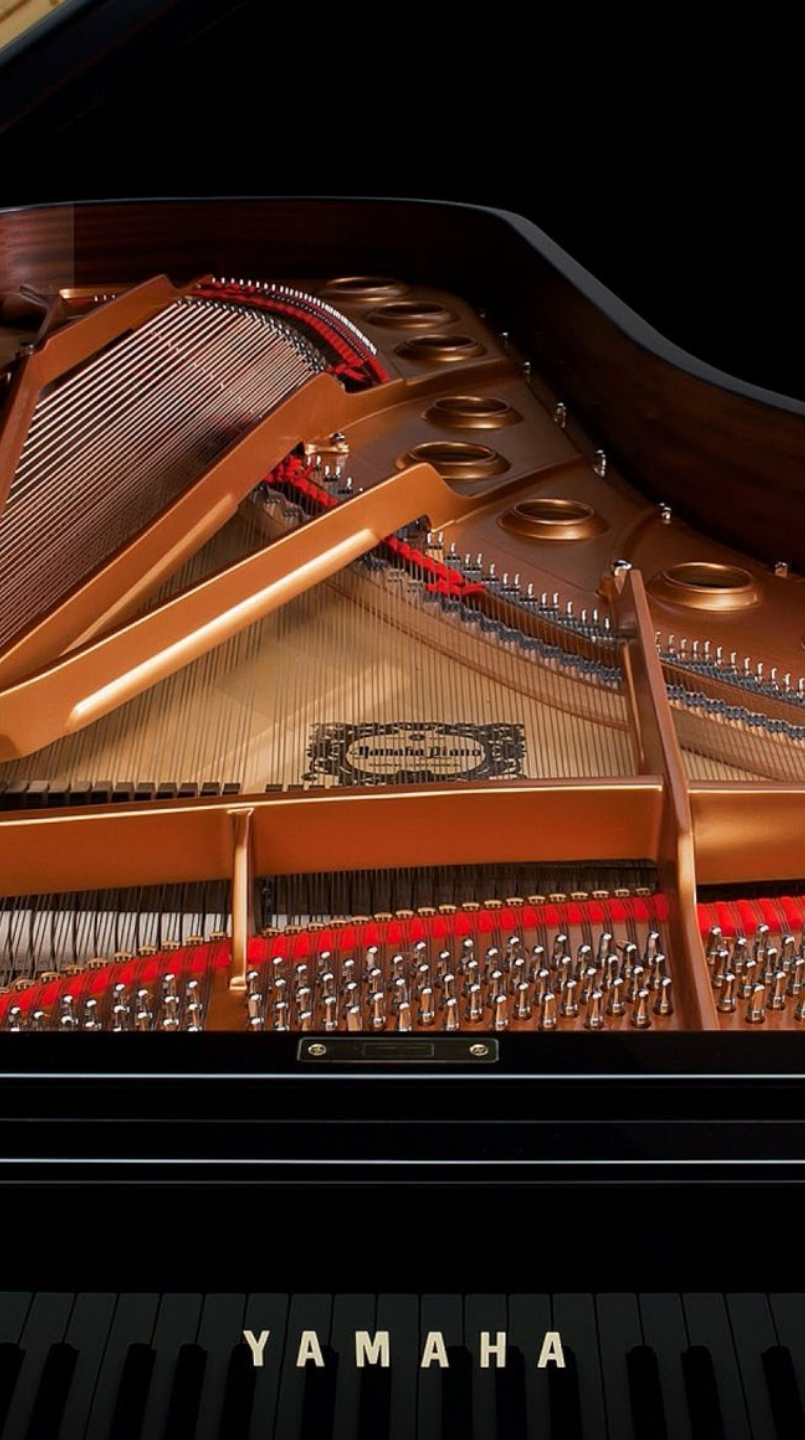
【27/3月期 1Q実績】

- ・ 楽器の販売回復、為替の円安により増収
- ・ 事業利益は、調達コストアップあるも、電子楽器伸長によるミックス改善、価格適正化、為替等により増益

通期業績予想

【27/3月期 通期予想】

- ・ 調達コストアップ、中東情勢等、不透明要素あるも、さらなる価格適正化の推進、為替の円安等もあり、売上収益・事業利益は前回予想（2026年5月）を据え置く
- ・ 米国関税の還付を受けて当期利益は前回予想を上方修正



1. 決算概要

業績概要

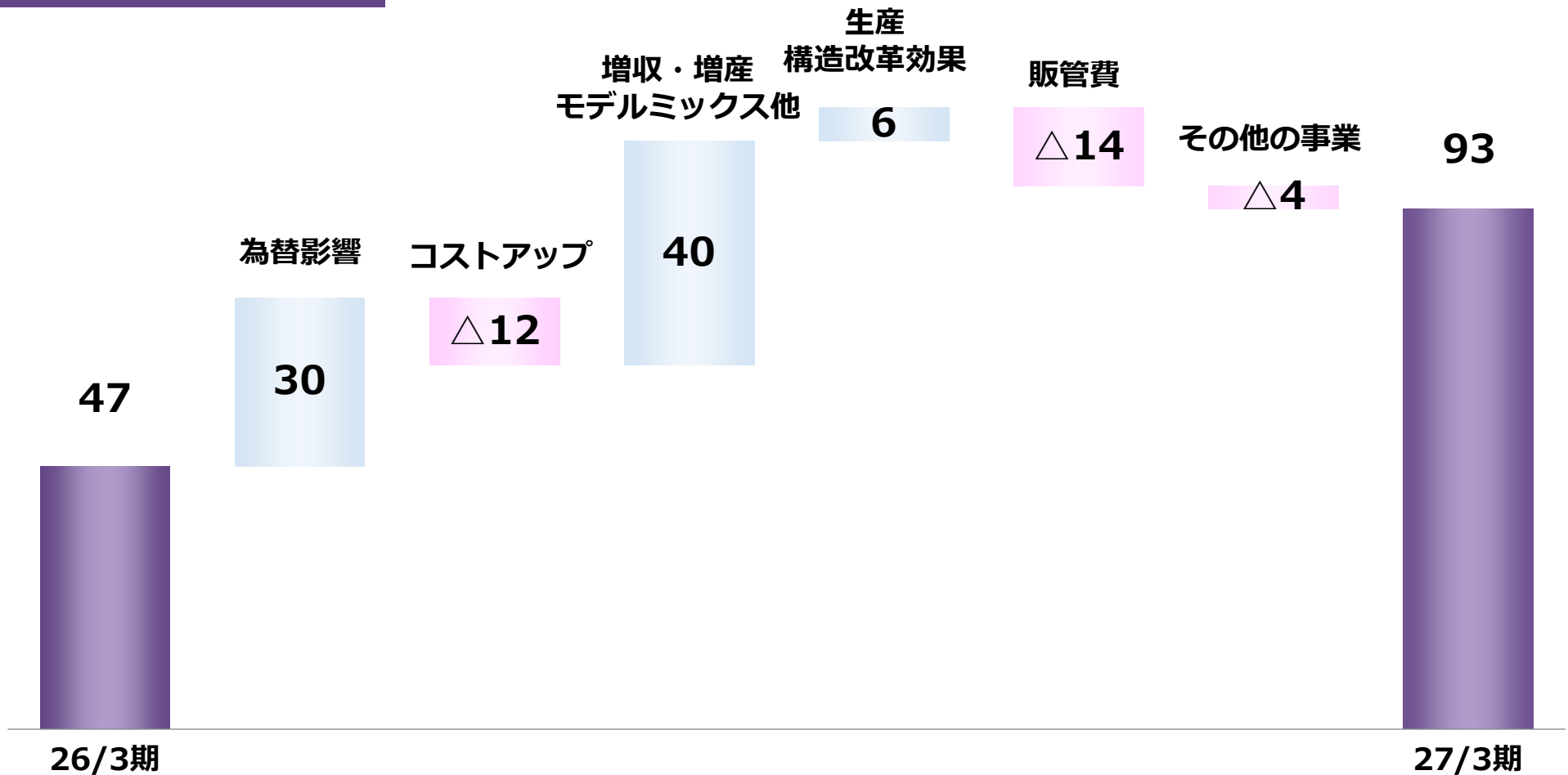
(億円)

	26/3 1Q	27/3 1Q	前期比	
売上収益	1,039	1,163	124	^{*2} +12.0%
事業利益 (事業利益率)	47 (4.5%)	93 (8.0%)	46	+97.7%
当期利益 ^{*1}	24	107	83	+348.8%
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益				
為替レート (円)				^{*2} +2.9% (為替影響除く)
US\$	145	160		
EUR	164	185		

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



価格適正化によるセグメント別の価格調整幅 (通期)

楽器 : 1.3%

音響機器 : 1.7%

事業別業績

(億円)

		26/3 1Q	27/3 1Q	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	665	777	111	66
	事業利益	21	65	44	23
	事業利益率	3.1%	8.3%	+5.2P	
音響機器事業	売上収益	330	350	20	27
	事業利益	23	28	5	6
	事業利益率	7.0%	8.1%	+1.0P	
その他の事業	売上収益	44	37	△7	2
	事業利益	3	0	△3	1
	事業利益率	6.5%	0.5%	△6.1P	

1Qの進捗

1Qの販売状況

販売計画通り進捗（対前年+12% 為替除く+2.9%）
 新商品投入は計画の通り
 価格適正化効果も顕在化、7月以降さらに加速
 1Qの主要新商品売上*60億円以上

*以下モデルを中心とした主要商品に限る

新商品効果

1Q実績

楽器：ピアノ・電子楽器で新商品効果が大きい
 音響機器：プロフェッショナル音響が大きい

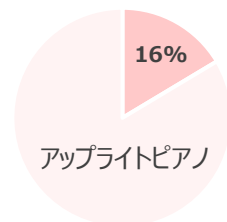
2Q以降

楽器：新製品31モデルを市場投入する計画
 音響機器：ミキサーの新製品に期待

期待の新商品

ピアノ

新商品1Q売上比率



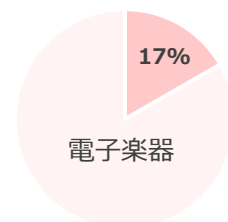
アップライトピアノ



Bシリーズ
2026年1月発売

電子楽器

新商品1Q売上比率



商品カテゴリー別では、
 エレクトーンは8割以上、
 ポータブルキーボードは
 3割以上が新商品

デジタルピアノ



YDP-166/146
2026年6月発売

ポータブルキーボード



PSR-SX720+
2026年4月発売



PSR-E483
2026年3月発売



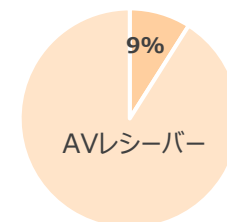
ELS-03シリーズ
2026年2月発売

PSR-I610
Made in India

インド専用モデル
PSR-I610/I510
2026年1月発売

コンシューマー音響

新商品1Q売上比率



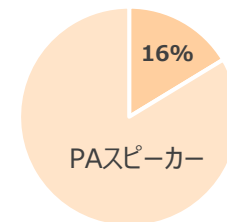
AVレシーバー



RX300A
2026年6月発売

プロフェッショナル音響

新商品1Q売上比率



PAスピーカー



**DXR mk3/CXR mk3/
DXS mk3/CXS mk3シリーズ**
2026年6月発売

業績予想

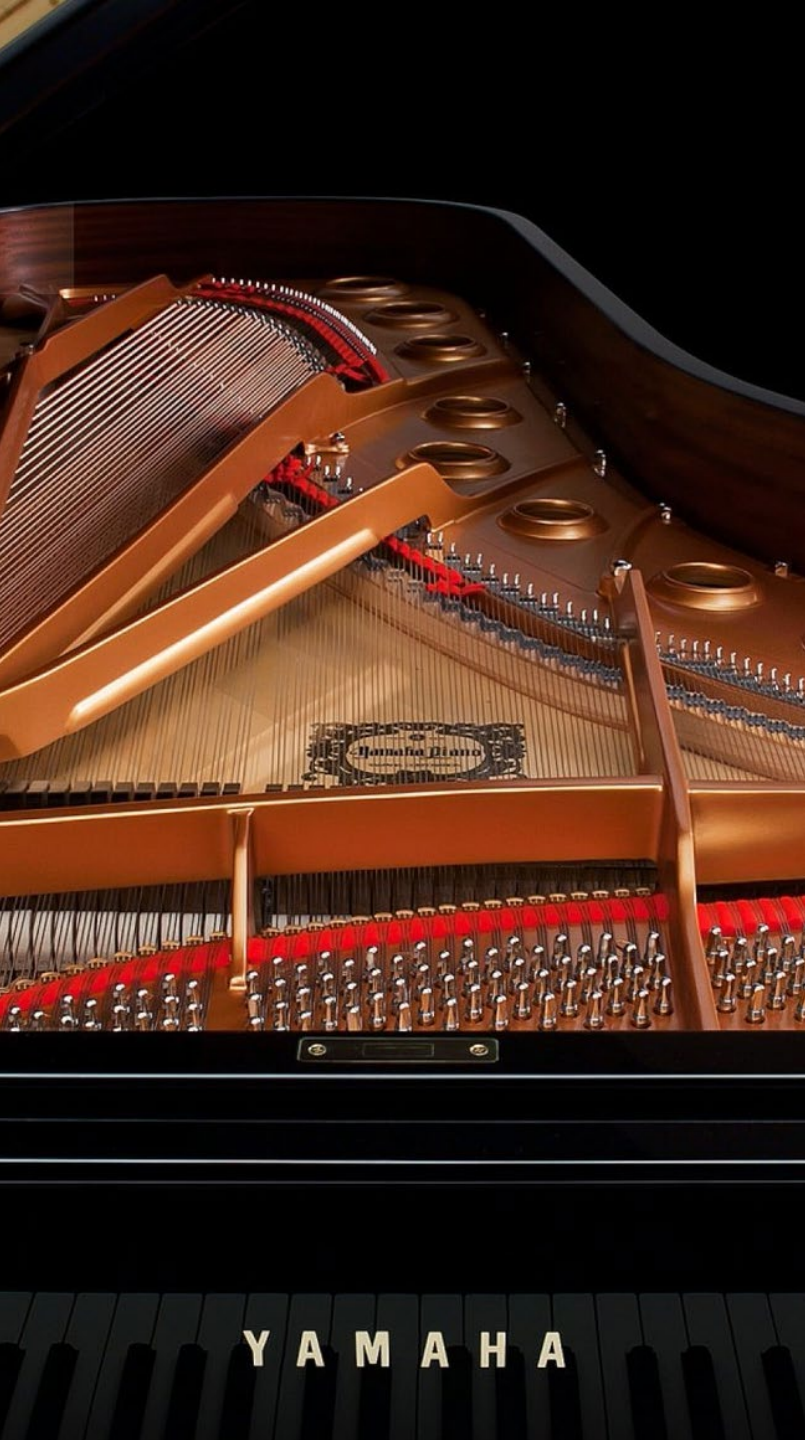
(億円)

	26/3	27/3 予想	前期比	
売上収益	4,653	4,900	247	+5.3% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	319 (6.9%)	380 (7.8%)	61	+19.2%
当期利益 ^{*1}	237	310	73	+30.7%
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益			*2 + 3.1% (為替影響除く)	
為替レート (円)			1円変動による影響額	
US\$	150	155	売上収益	約9.1億円
			利益	約1.1億円
EUR	173	180	売上収益	約6.6億円
			利益	約4.1億円

事業別業績予想

(億円)

		26/3	27/3 予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,049	3,220	171	71
	事業利益	212	240	28	17
	事業利益率	7.0%	7.5%	+0.5P	
音響機器事業	売上収益	1,424	1,500	76	27
	事業利益	108	130	22	11
	事業利益率	7.6%	8.7%	1.1P	
その他の事業	売上収益	180	180	0	2
	事業利益	△1	10	11	△1
	事業利益率	△0.6%	5.6%	+6.2P	



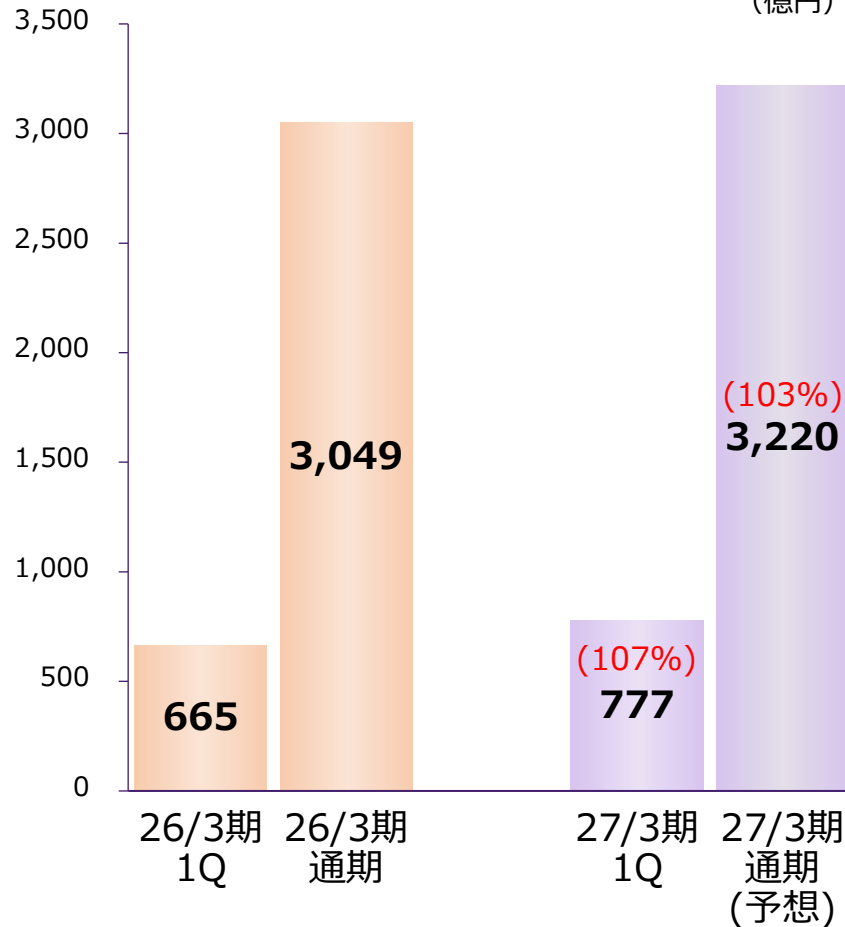
2. 事業別概要

Y A M A H A

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



[1Q状況] すべての商品が増収

- ・ピアノは中国以外の地域が回復し増収、電子楽器は新商品が寄与し全地域増収で2桁成長、管弦打楽器は堅調な需要が続ки増収、ギターは北米・欧州・その他地域の2桁成長が続き増収

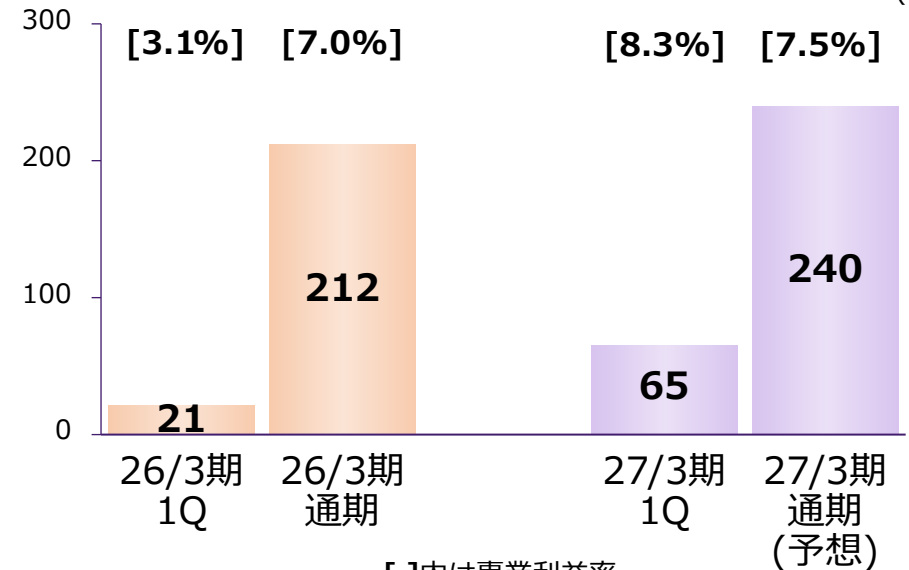
[通期見込] 全商品・地域で増収を予想

- ・ピアノはアップライト新シリーズ投入による販売増、電子楽器はトップシェア堅持、管弦打楽器は需要堅調継続し、ギターはさらなる成長を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益

(億円)



[]内は事業利益率

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

主要商品 販売状況

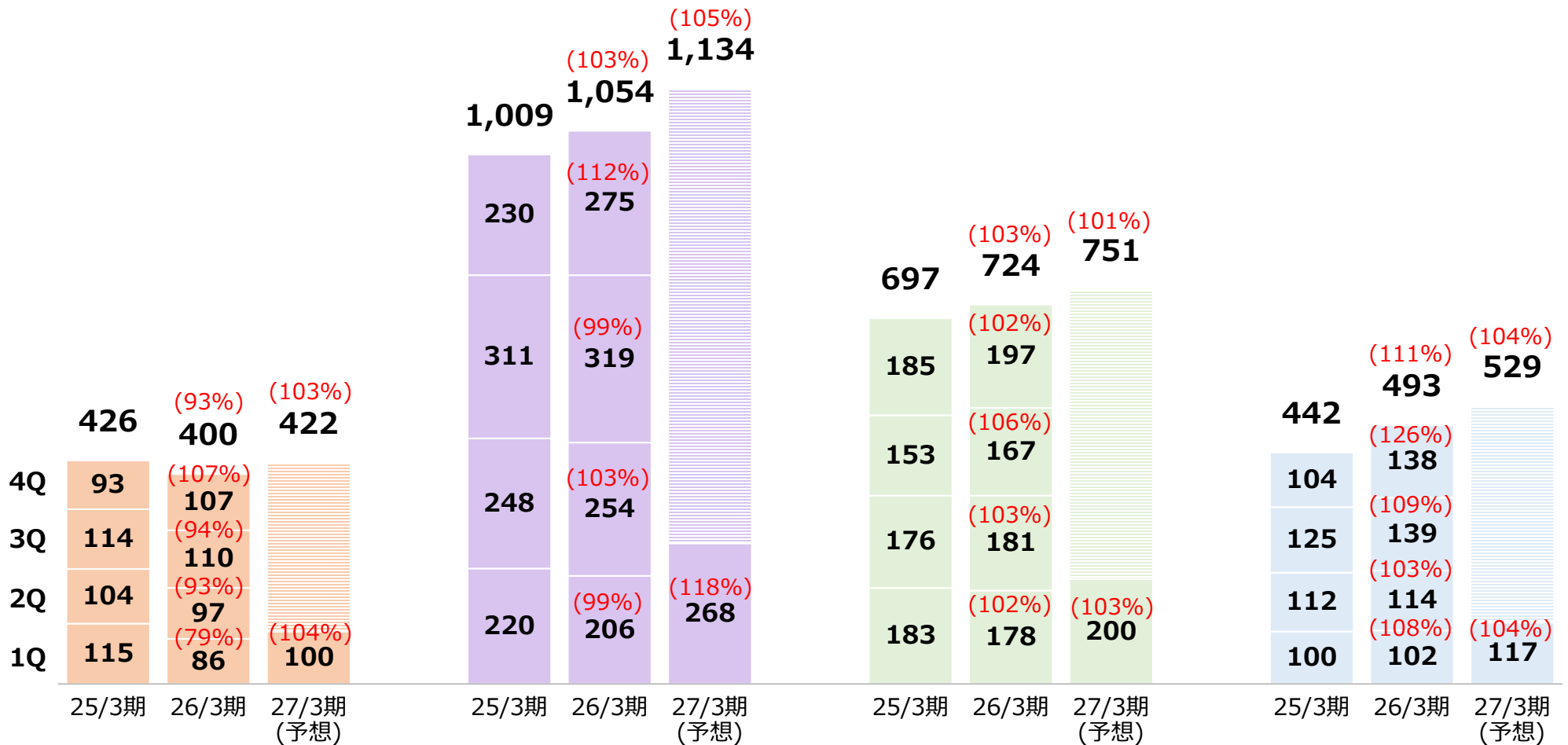
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

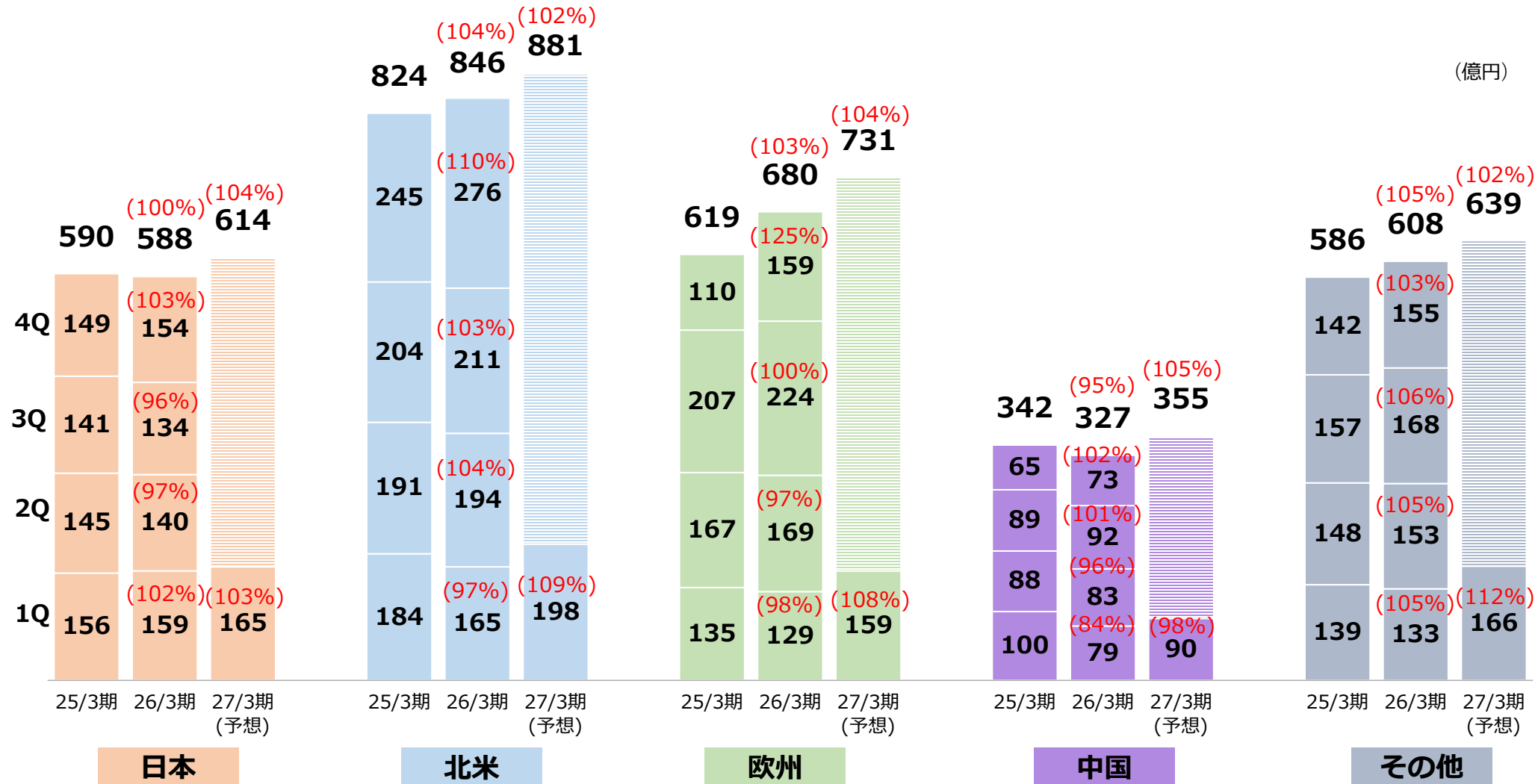
ギター

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

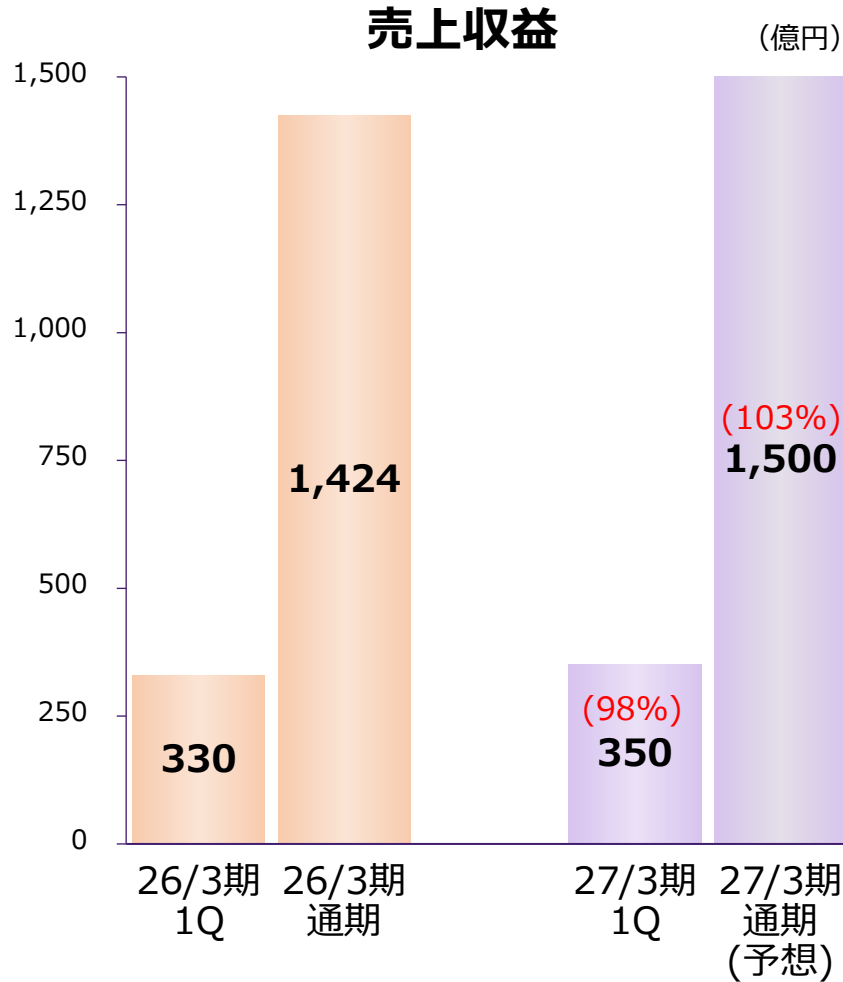
地域別 販売状況



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

売上収益・事業利益

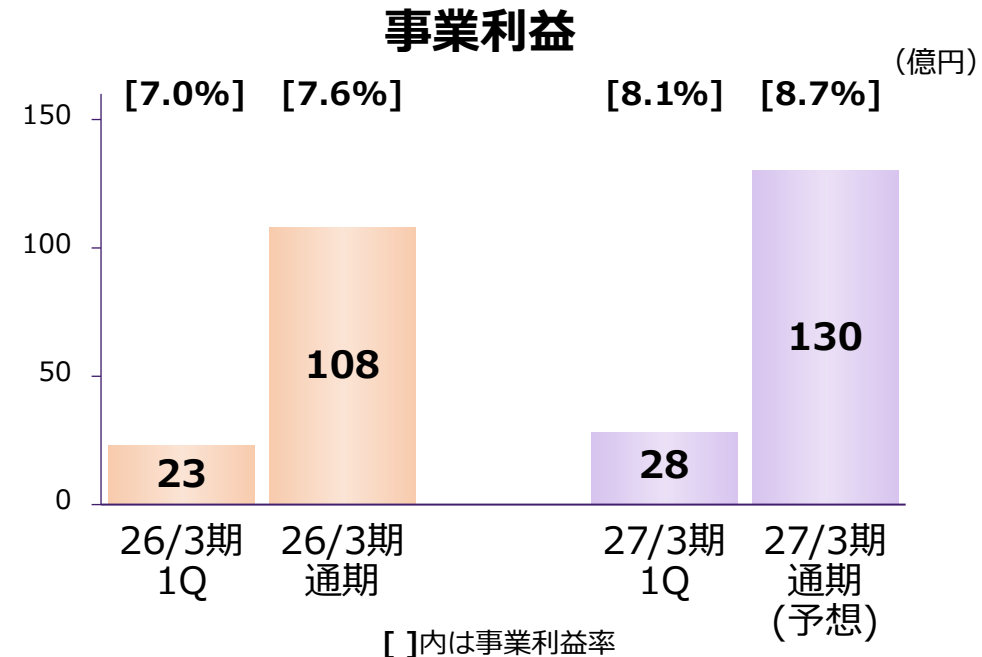


[1Q状況] コンシューマー、プロフェッショナル音響機器軟調

- ・コンシューマー音響機器はホームオーディオ低調で減収
- ・プロフェッショナル音響機器はスピーカー販売増も、欧州・中国の低迷で減収
- ・モビリティ音響機器は中国の減少を、それ以外の地域の伸びが上回り2桁増収

[通期見込] 成長軌道に回帰し増収を予想

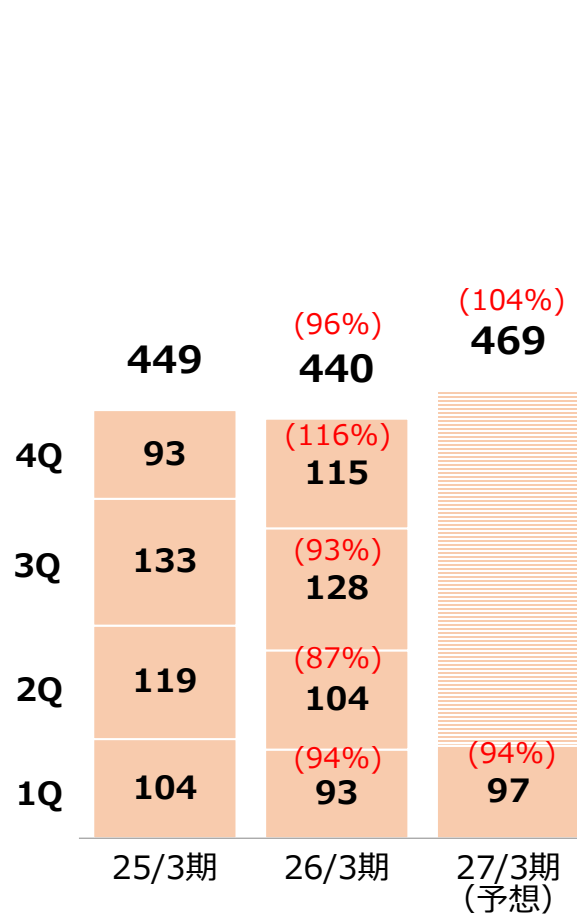
(増減収はすべて実質ベース)



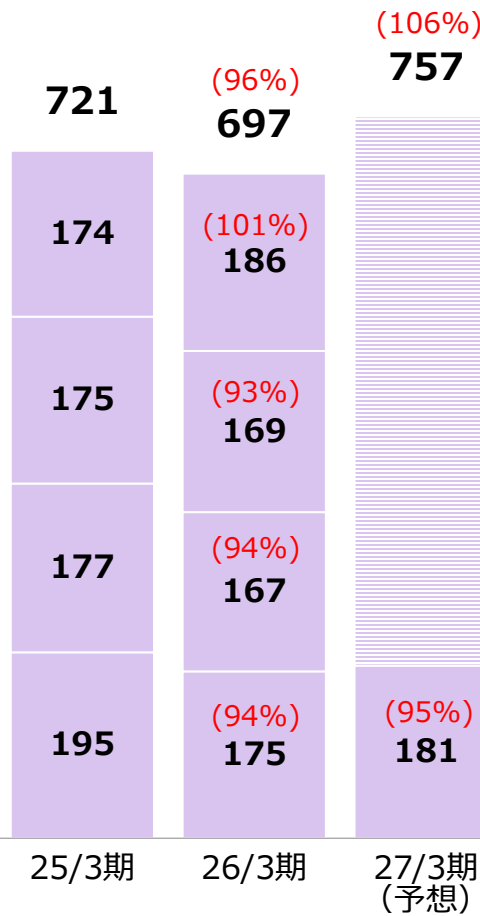
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

主要商品 販売状況

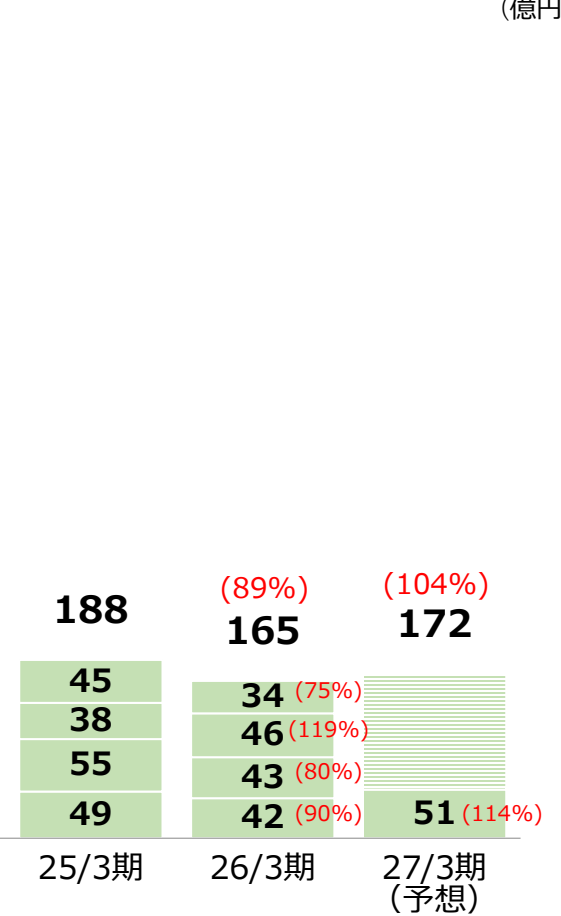
コンシューマー 音響機器



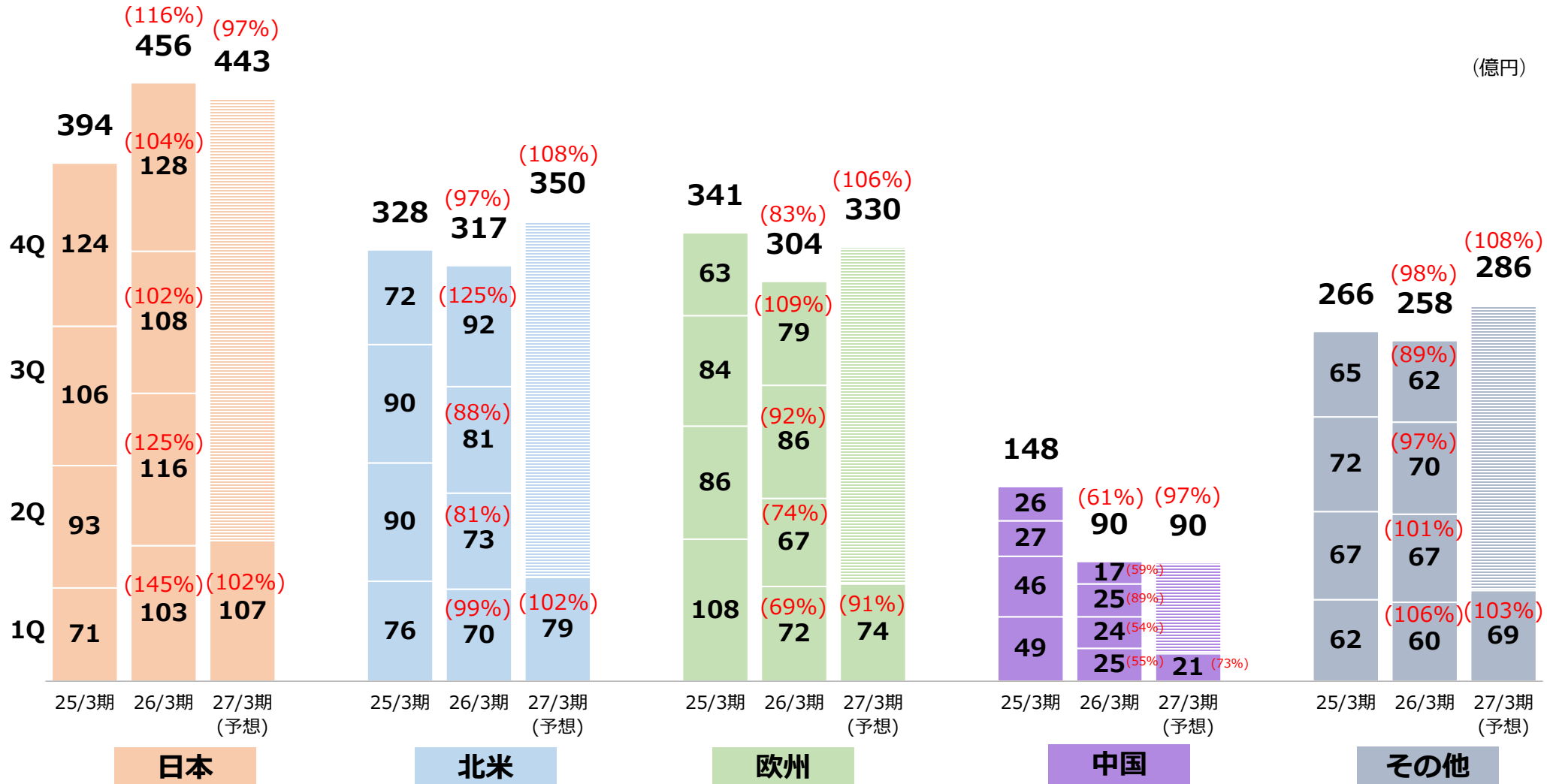
プロフェッショナル 音響機器



モビリティ 音響機器



地域別 販売状況

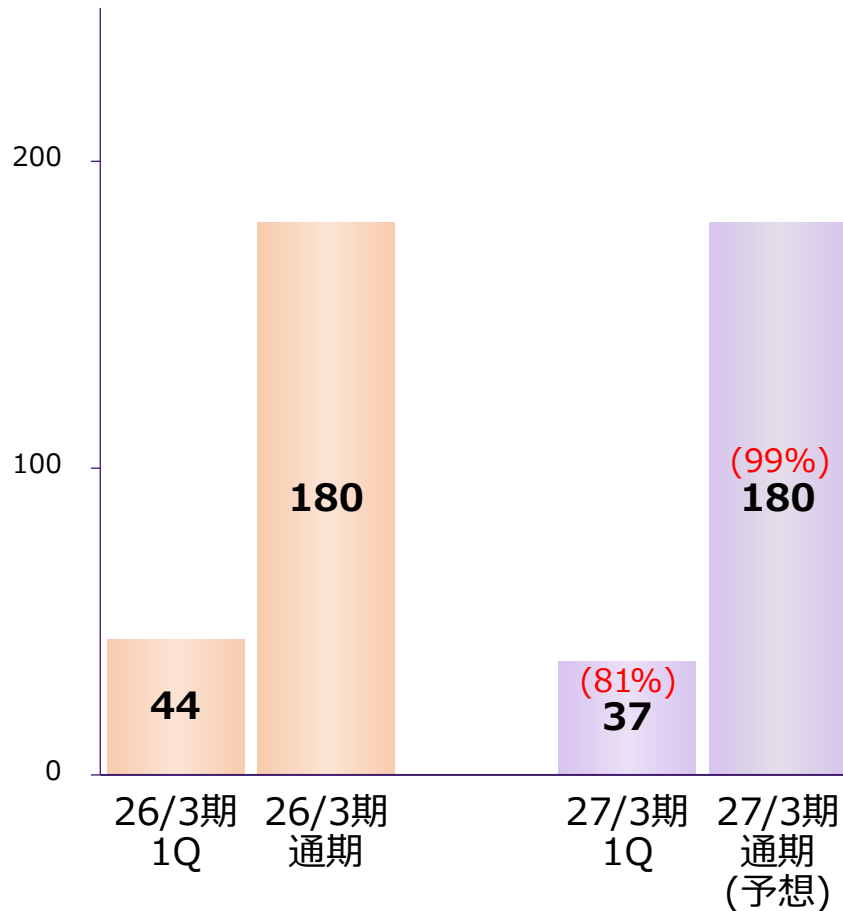


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



[1Q状況]

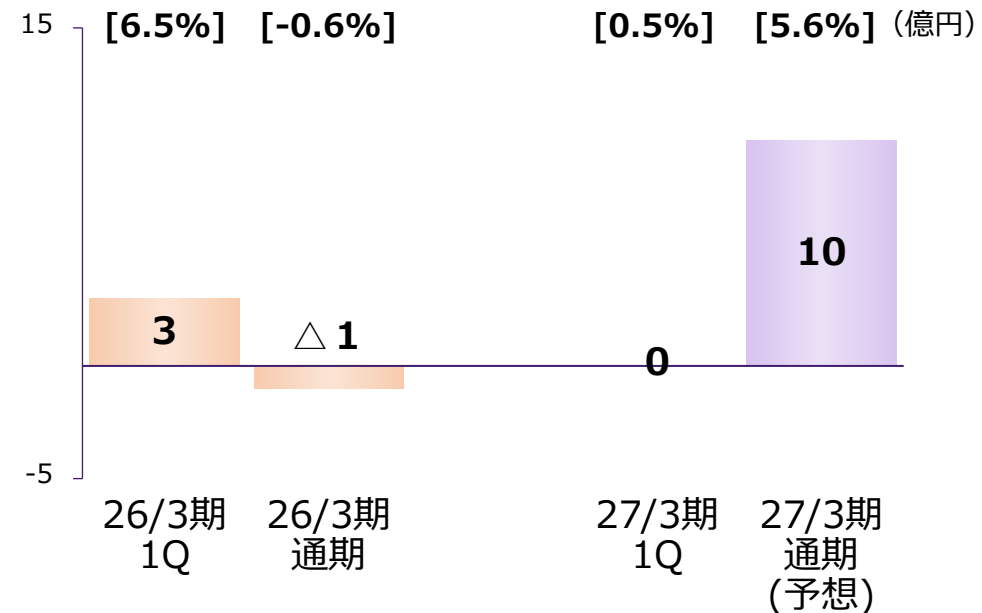
- ・自動車用内装部品、FA機器ともに減収

[通期見込]

- ・FA機器が伸長するも、ゴルフ用品販売終了により減収を予想

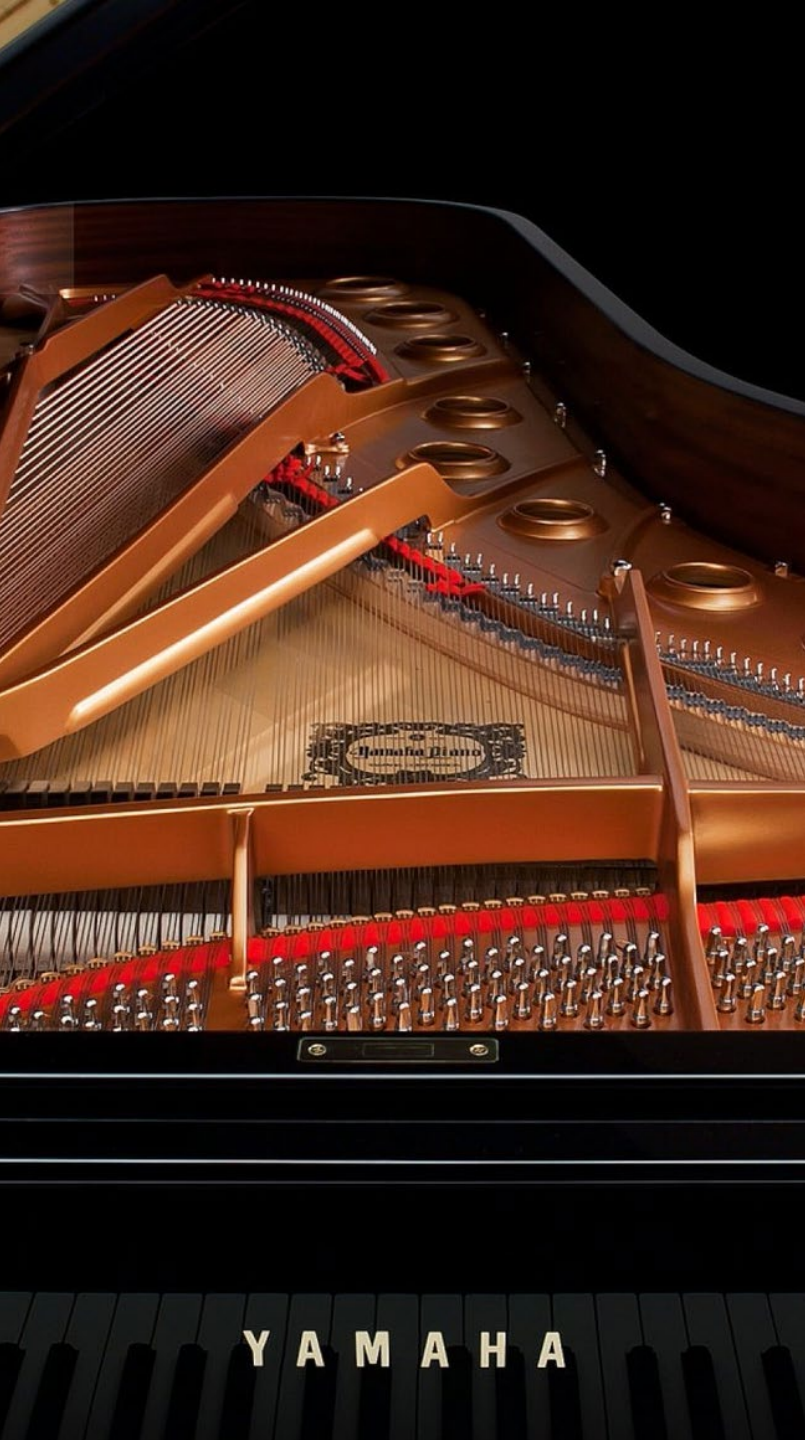
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

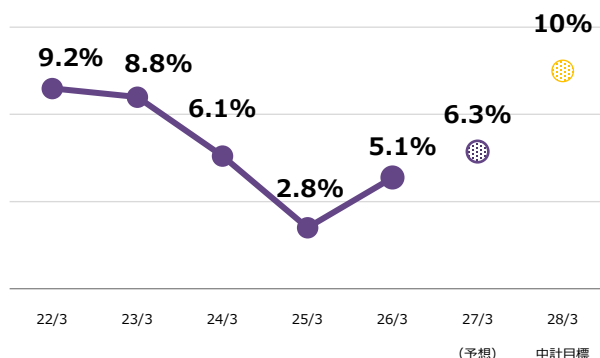
(億円)

	26/3末	26/6末	増減	27/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,090	1,209	120	1,446
営業債権他	877	789	△88	899
その他金融資産	42	60	18	43
棚卸資産	1,523	1,610	88	1,460
他流動資産	118	118	0	38
非流動資産	2,526	2,603	77	2,580
資産計	6,176	6,389	214	6,465
流動負債	980	1,028	48	1,026
非流動負債	398	416	17	412
資本計	4,797	4,945	148	5,027
負債及び資本計	6,176	6,389	214	6,465

ROE、ROIC、株主還元等

ROE 27/3期（予想） 6.3%

（株主資本コスト* 6.7%） *CAPMベース



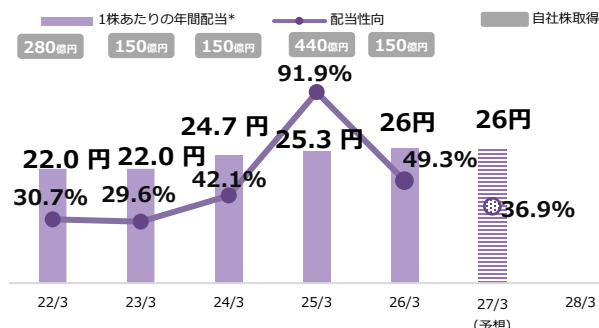
Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

<現状評価と改善に向けた方針>

ROEは6.3%と依然株主資本コストを下回る見通し。引き続き収益性の改善および、株主還元の着実な実行により、株主資本コストを上回るROEを目指す。

株主還元



総還元性向

135.1%

目標 50%以上

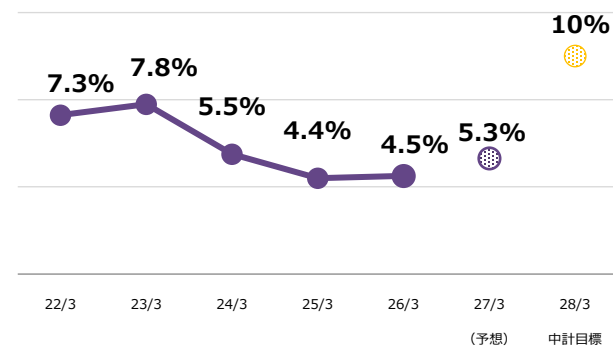
Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

*2024年10月1日付で、1株につき3株の株式分割を行っています。
 上記グラフは分割を考慮して1株当たり配当金を表示しています。

ROIC 27/3期（予想） 5.3%

（WACC 6.5%）

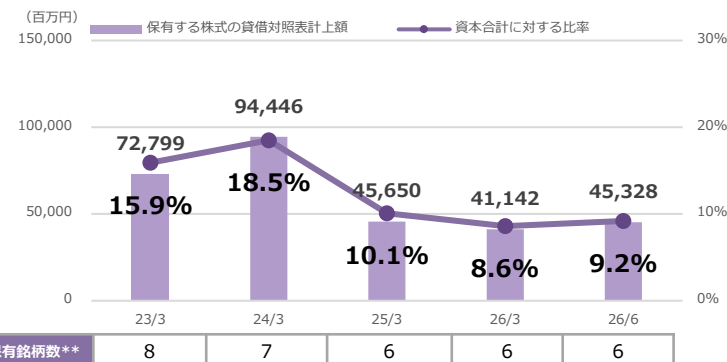


Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

ROIC = 税引後事業利益 ÷ (親会社の所有者に帰属する株主資本 + 有利子負債)

政策保有株式

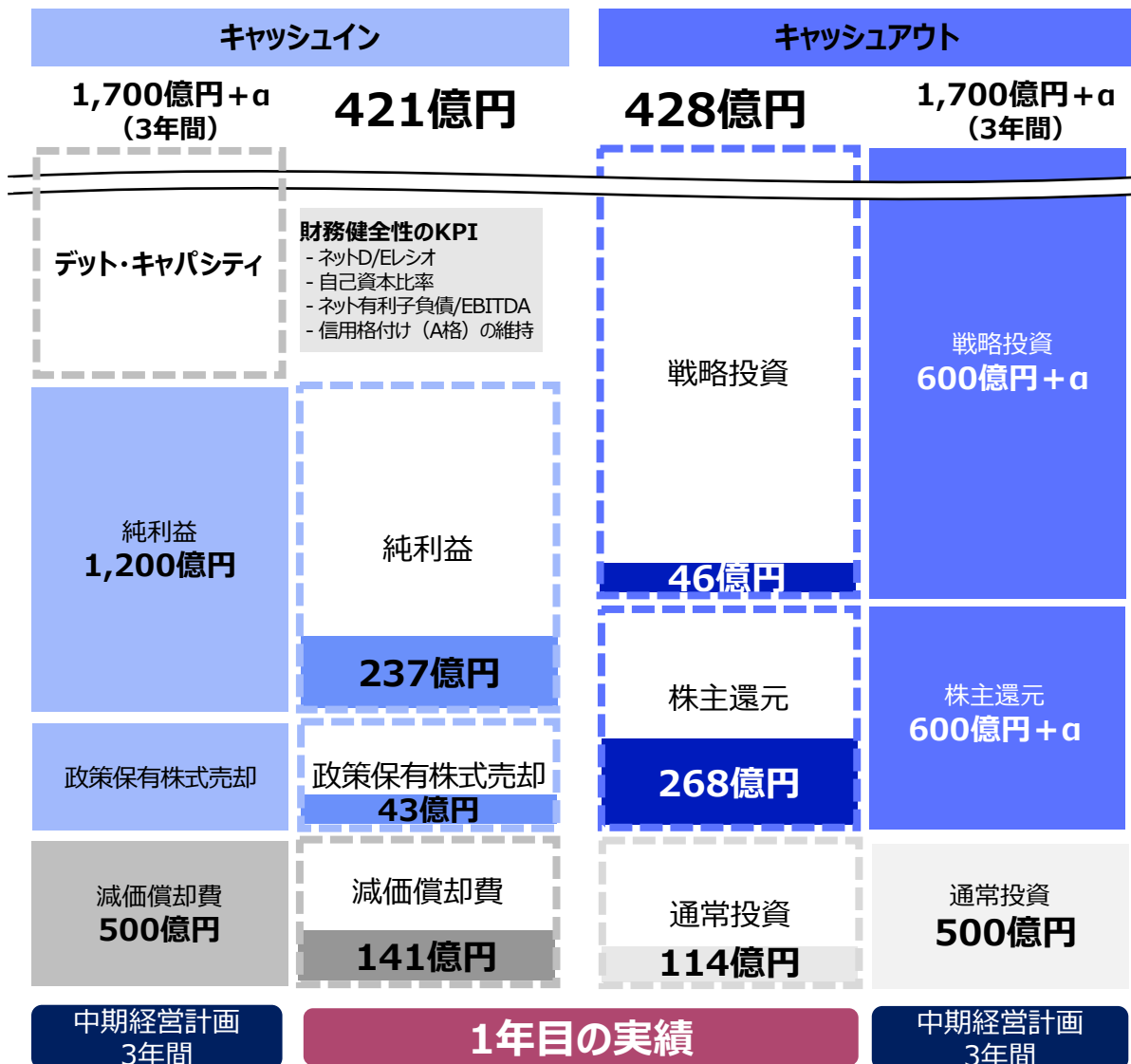


保有銘柄数**

Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

キャッシュアロケーションと戦略投資



積極的な戦略投資に向けた対応

- ガバナンス体制整備
- 案件リストの集中管理
- 投資枠の設定
- 投資評価基準の設定

- ・インド・アセアン地域の市場開拓
- ・音響機器事業の成長加速
- ・音響機器・新規事業でのドメイン拡大
- ・未来を創る挑戦を実現するベンチャー投資
- ・サステナビリティ・人財資本などのESG投資

総還元性向50%以上 (3年間)

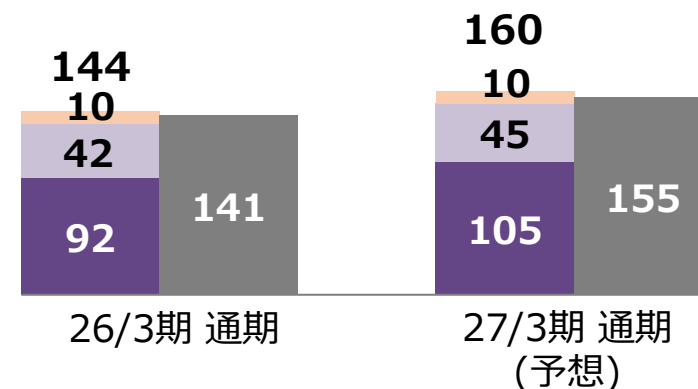
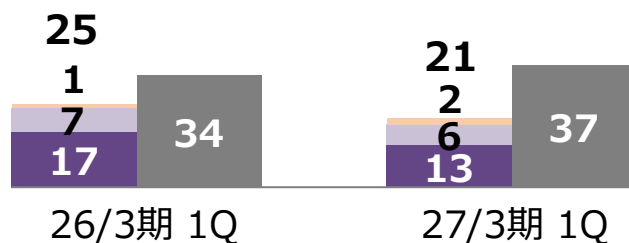
減価償却費と同水準

設備投資額・減価償却費 / 研究開発費

設備投資額/減価償却費

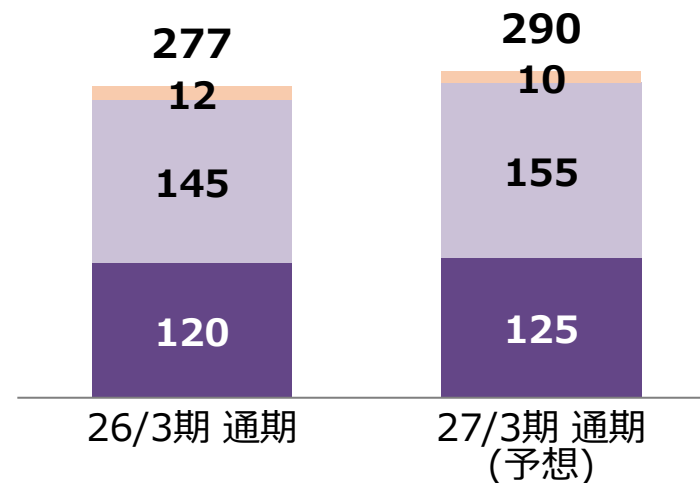
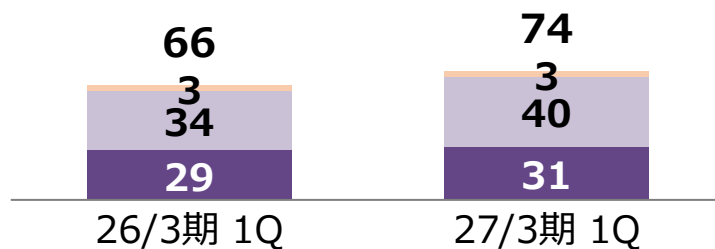
(億円)

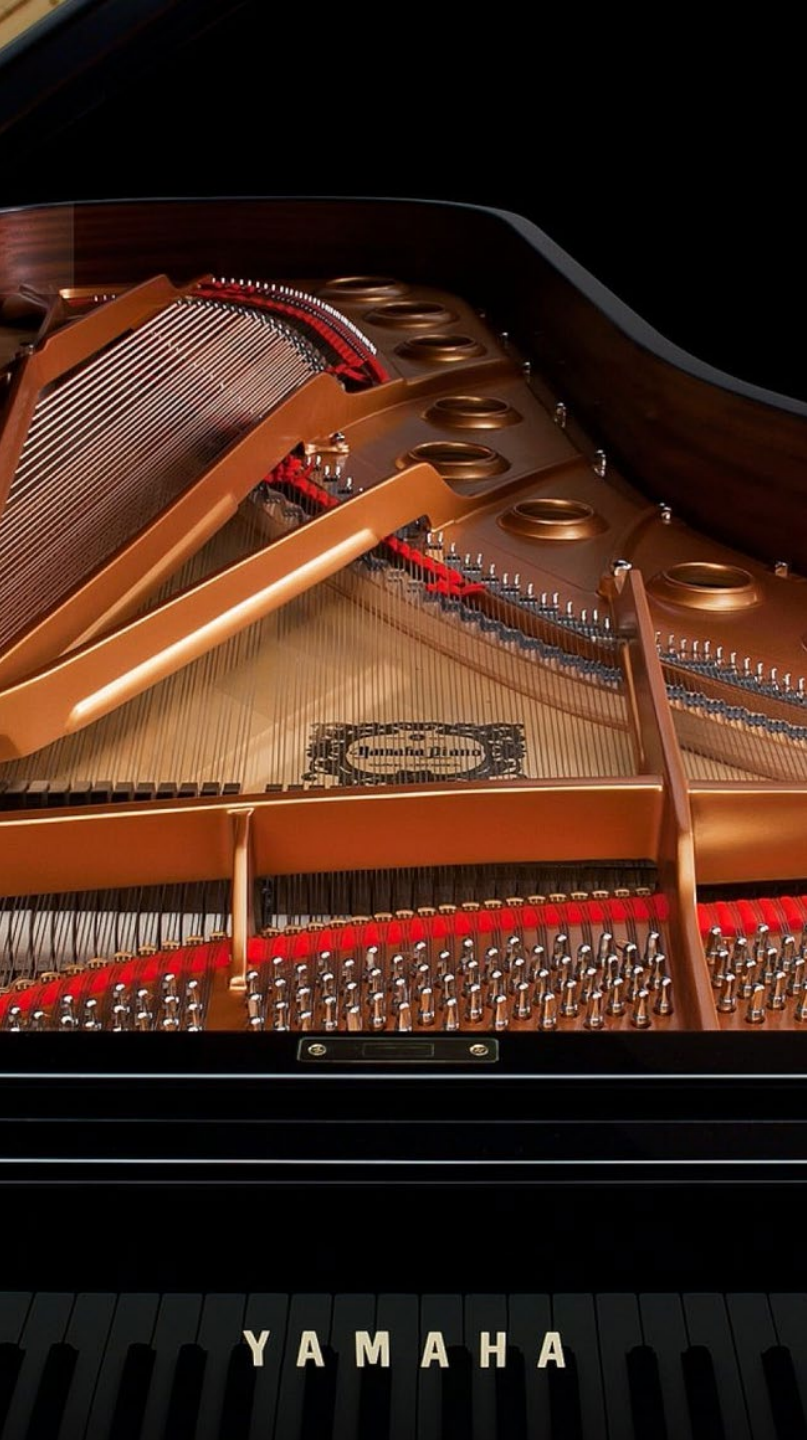
- その他
- 音響機器
- 楽器
- 減価償却費



研究開発費

- その他
- 音響機器
- 楽器





4. トピックス

中期経営計画 重点テーマ

強固な事業基盤の再構築

技術x感性で磨く本質的価値を追求した期待の新商品・新サービス

1Q新商品投入、価格適正化は計画通り進捗

2Q以降の期待の新商品

グランドピアノ



C2X espresso

ポータブルキーボード



PRIMARY-01

HiFiスピーカー



NX70A

無線LANアクセスポイント



WLX232

ミキシングコンソール



MGP32X A

MGP24X A

未来を創る挑戦

新価値創出への挑戦

独自技術による新しい価値の提案

プロフェッショナル音響



イヤホン・ヘッドホン向け仮想立体音響ソリューション『Sound xR Core』がゲーム「グランブルーファンタジー リリンク：エンドレスラグナロク」に採用

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26070902/

モビリティ音響



車室内空間を光で演出する「Music:AI for Lighting」を開発

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26042402/

新規事業開発



ローカル型 音声・字幕システム「スマホでレシーバー」を発売

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26060401/

YMIと国際音楽教育学会が戦略的協業を開始

クリエイター向け統合型プラットフォーム Yamaha Creator Passを活用した学生クリエイター向けの国際コンテストGlobal Student Creator Challenge共同開催を発表

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26073101/

YAMAHA
MUSIC
INNOVATIONS

ISME
INTERNATIONAL SOCIETY
FOR MUSIC EDUCATION

サステナビリティを価値の源泉に

新興国の音楽教育普及の取り組み拡大

公立初等学校にリコーダーを用いた音楽教育を試験導入（インド）



教員研修の様子（提供：アーメダバード市教育委員会）

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2026/26070901/

ガバナンス

新体制始動（各委員長が社外取締役で構成）

取締役が有している専門性

取締役		企業経営	ガバナンス・ リスク・コンプ ライアンス	財務・ 会計	IT・ デジタル	製造・技術 研究開発	マーケティング・ 営業	グローバル
中田 卓也	-	●			●	●	●	●
山浦 敦	-	●			●	●		●
篠原 弘道	社外	●			●	●		●
吉澤 尚子	社外	●			●	●		●
江幡 奈歩	社外		●					●
伊藤 秀二	社外	●				●	●	●
野上 宰門	社外	●	●	●				●
ケリー・ワリング（新任）	社外	●	●					●



取締役
中田 卓也



取締役
山浦 敦

◆委員長◆



独立社外取締役
篠原 弘道



独立社外取締役
吉澤 尚子



独立社外取締役
江幡 奈歩

◆委員長◆



独立社外取締役
伊藤 秀二

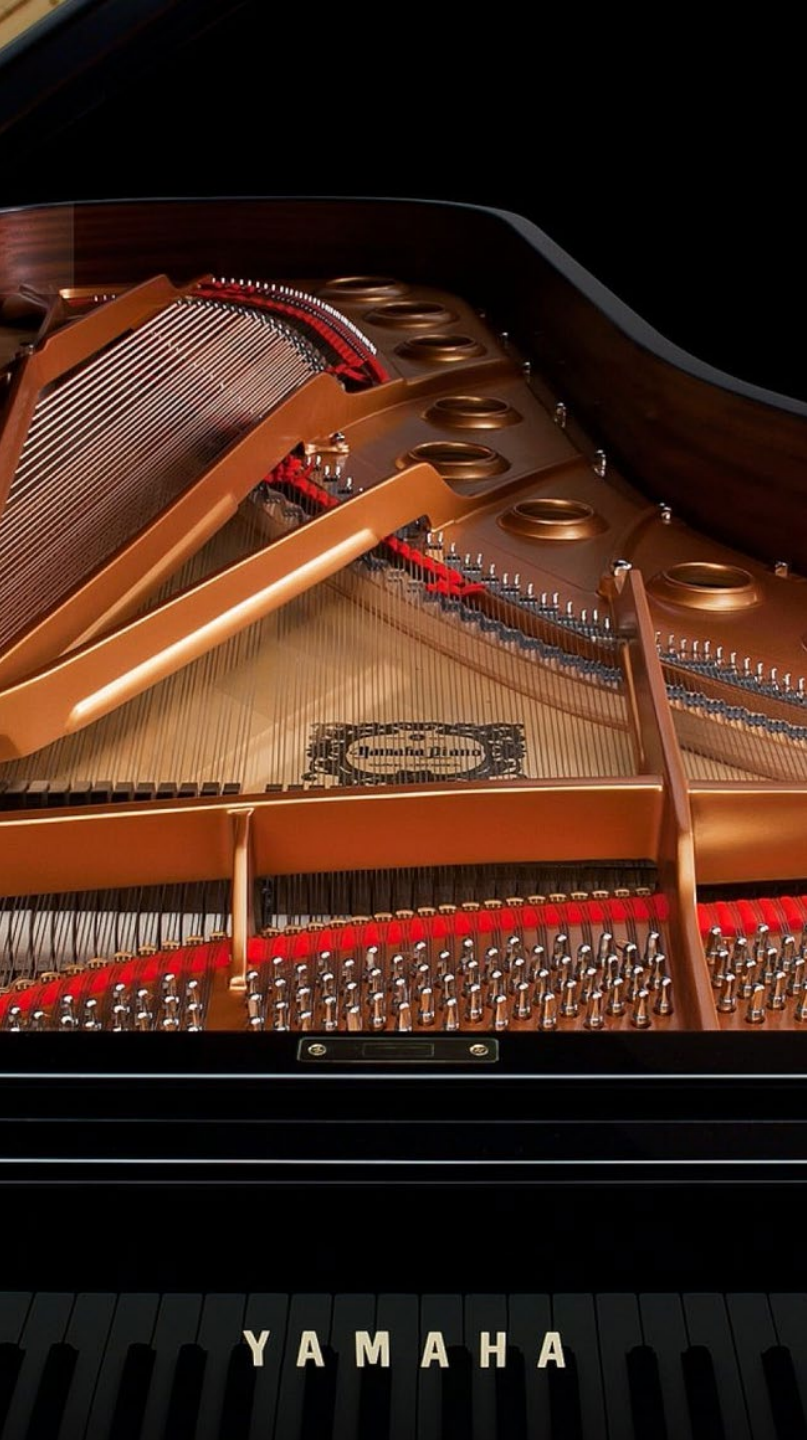
◆委員長



独立社外取締役
野上 宰門



新任 独立社外取締役
Kerrie Waring



付属資料

1Q その他収支等

(億円)

		26/3	27/3
事業利益		47	93
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	△0	0
	その他	△1	45
	計	△1	45
営業利益		46	138
金融収支計	受取配当金	2	2
	その他	△10	8
	計	△8	10
税前列益		38	148
法人税等		△14	△41
非支配株主利益		0	0
当期利益*		24	107

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		26/3	27/3 (予想)
事業利益		319	380
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	7	△0
	その他	△33	45
	計	△26	45
営業利益		293	425
金融収支計	受取配当金	16	19
	その他	44	△9
	計	60	10
税前利益		353	435
法人税等		△115	△125
非支配株主利益		△1	1
当期利益*		237	310

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。